

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	腎盂尿管癌の治療成績に関する研究(多施設共同後向き観察研究)
研究責任者	泌尿器科 石川 晃
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	対象は、1990年1月1日～2020年9月30日までの間に腎盂尿管癌で当センターを受診された患者さんです。 腎盂尿管癌は、腎盂尿管の尿路上皮より発生する悪性腫瘍です。病理組織学的には90%以上が尿路上皮癌(移行上皮癌)で、ほかに扁平上皮癌・腺癌・小細胞癌・未分化癌がみられます。腎盂尿管癌は、同じ尿路上皮から発生する膀胱癌と比べてまれであり、尿路上皮癌の中では膀胱癌が約90%と大半を占め、腎盂尿管癌は5～10%に過ぎません。 転移のない腎盂尿管癌には、腎盂管全摘術が施されます。本術式は、標準治療ですが、リンパ節郭清の範囲が未確定であることや手術前後の化学療法の意義が確立されていない。ことなどが問題点として挙げられています。また、転移を伴う場合は、全身化学療法が適応ですが、術後単腎となり、腎機能障害を伴う症例が多いため、腎毒性があるシスプラチンを用いた標準的な全身化学療法が必ずしも実施できず、そのような症例の予後について十分な研究報告がないのが現状です。 こうした臨床上の課題や問題点を解決するためには、過去の症例を所為に調査して結果を検証することが重要です。しかし、腎盂尿管癌はもともと罹患率が低いため、複数施設の腎盂尿管癌症例の臨床経過を集め、詳細に調査し、治療成績、生命予後、治療に合併などを明らかにすることになりました。
研究方法	患者さんの臨床経過に係わるデータを患者さんのプライバシーを決して侵害することなく集積、解析します。 個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を一切削除し、第三者が個人情報を閲覧することができないようにします。本研究の実施の過程およびその結果の公表において、個々の患者さんの情報は一切公表されません。また、この研究は学会等で公表されます。 1990年1月1日～2020年9月30日までの間に腎盂尿管癌で当センターを受診された患者さんで今回の研究に参加を希望されない方は下記までご連絡下さい。参加を希望されなくても不利益はありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 泌尿器科 〒150-8935 担当者:石川 晃 TEL:03-3400-1311 FAX:03-0409-1604